

大阪市橋梁保全更新計画の概要

大阪市橋梁保全更新計画は、建設局が管理する橋に関わる事業について、橋を良好な状態で将来に引き継ぐために、必要な事業計画（橋の点検・維持補修・補強・架替など）およびその実施方針を示したものです。

点検・補修

橋の点検

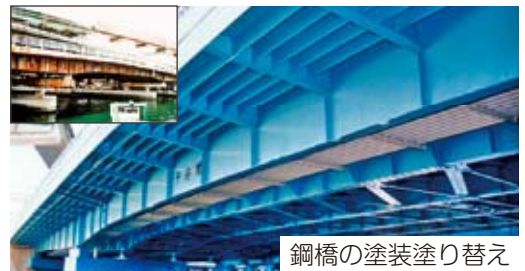
基本的に5年に1回の詳細点検により、橋の損傷状態を確実に把握し、重大な損傷や事故を防止します。



橋の点検

維持補修

定期的な詳細点検に基づき、橋の劣化を予測し、損傷が大きくなる前に補修を行う「予防保全」を実施します。



鋼橋の塗装塗り替え

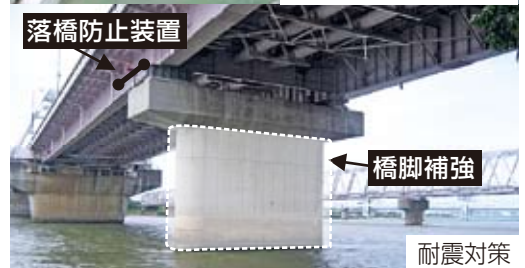
補強

車両の大型化に対する補強や、車両用防護柵の設置など安全対策を実施します。



車両用防護柵の設置

大規模地震に対する、耐震対策などを実施します。



耐震対策

架替

架替

戦前に架けられた高齢橋について、ライフサイクルコスト分析等により架替要否を判定し、計画的な架替を実施します。
(詳細はP7参照)



高齢橋の架替(戎橋)

河川改修事業や都市計画事業などに伴う、橋の架替を実施します。



河川改修事業に伴う架替(北葦橋)